



誰もが住んでみたいと思う、個性豊かで活力あるまち、
そして誰もが安全で安心して暮らせるまち
松原市の実現に全力で取り組む

松原市議会議長 池内 秀仁



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
年頭に当たり、松原市議会を代表して、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、松原市議会に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

さて、昨年は、広島土砂災害の発生や御嶽山の噴火など、自然の恐ろしさを改めて認識させら
れました。一方、スポーツ界では、野球やサッカー選手が海外で大活躍し、テニスの全米オー
プンで錦織圭選手が準優勝するなど、国民に希望や勇気を与えてくれました。経済に目を転じますと、
大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」の政策は着実
に成果を上げているものの、国内総生産（GDP）は2四半期連続のマイナス成長になるなど、
景気の先行き不透明感が広がっています。

本市の状況を見ますと、少子高齢化の進展による人口減少に伴い、市税収入等の歳入の増加が
見込めない一方で、社会保障関連経費については一層の増加となるなど、これまで以上に効率的
で健全な財政運営と柔軟でスリムな行政運営が求められています。

また、近年の高度化・多様化する市民ニーズに的確に対応した、きめ細かいサービスを提供す
るためには、なお一層の市民協働を進めていかななくてはなりません。自治会組織をはじめとした
市民の皆様やNPO、ボランティアといった地域団体等多くの主体が、まちづくりにおける役割
と責任を認識し、対等な立場で相互に補完及び協力することは、「住民主体のまちづくり」を推進
する上でも、大変重要な意義を持つものと言えます。

私たち議員一同、松原市民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、誰
もが住んでみたいと思う、個性豊かで活力あるまち、そして誰もが安全で安心して暮らせるまち
松原市の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りま
すよう、心からお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様方にとって、実り多き年となりますことを心より祈念致しまして、
年頭のご挨拶とさせていただきます。



60周年をむかえる記念すべき年
大阪初のセーフコミュニティ国際認証都市として
協働の取り組みをさらに推進する

松原市長 澤井 宏文



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、市立四つ葉幼稚園を4月に開園し、広い敷地と充分な空間の中で、よ
り魅力ある教育環境を整備致しました。

さらに、子どものけがや病気などに係る医療費負担の軽減を図る為、一昨年からの所得制限の撤廃
に引き続き、通院時の助成対象を就学前から小学6年生までへと拡充致しました。

そして、市内唯一の天然芝・多目的グラウンドとして、三宅東公園を開園し、今後は、阪神高速大
和川線の高架下を活用した「スポーツパークまつばら」の建設など、スポーツのまちにふさわしい施設
の充実に力を入れてまいります。

また、元希者（高齢者）の方々に地域で末永くご活躍いただけるよう、生涯学習の新たな拠点施設「仮
称・元希者センター」の建設を進めてまいります。

さらなる防災対策として、「松原市地域防災計画」を見直すとともに、局地的豪雨に備え、地域の雨
水の取り込み整備を進め、浸水災害を防いでまいります。

また、大規模地震に備え、水道施設の機能強化と基幹管路の耐震化を進め、災害に強いライフライ
ンを構築してまいります。

そして、40年来の課題である、ごみ処理においても、昨年1月に「大阪市・八尾市・松原市環境施設組合」
を設置し、3市による共同処理を本年4月より開始してまいります。

大阪府下で比較しましても、収入が少なく厳しい財政状況の本市がこれらの施策を実施できている
のも、徹底した行財政改革の断行と職員の頑張り、そして何より市民の皆様への支え（協働）のおかげ
です。あらためて、皆様に厚く御礼申し上げます。

そのような中で、松原市は本年2月に市制施行60周年を迎えます。記念すべき還暦を市民の皆様と
一緒に祝うため、2月1日に記念式典を開催致します。

これからも私は、今、市政に何が求められているかを冷静に見極めながら、大阪初となったセーフコミュ
ニティ国際認証都市として、市民の皆様との協働の取り組みをより一層推し進め、日本一健康で安心・安
全なまちづくりに挑んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

本年が皆様にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶
と致します。

平成27年
新年を迎えて